

【令和元年8月23日開催】

◆第3分科会 地域連携 （報告者：中能登町立中能登中学校PTA 青木 飛鳥・島田 明久美）

会 場 赤穂市文化会館大ホール

研究課題 「地域で見守り育むPTA活動」

～伝え合う思いやりの心～

基調講演 谷本 賢一郎 氏 （ミュージシャン・タレント）

「子どもの未来を描くために」

～子どもから大人まで歌で心の扉をあけよう～

実践発表 藏屋 誠 氏 （太子町立龍田小学校PTA前会長） 〈会場入口〉

「次代を担う子どもたちを地域力で盛り上げよう」

～つながりの大切さと継続することの難しさ～

コーディネーター 服部 伸一 氏 （関西福祉大学教授）

パネリスト 谷本 賢一郎 氏 （基調講演者）

藏屋 誠 氏 （実践発表者）

名須川 知子 氏 （兵庫教育大学教授）

瀧川 嘉彦 氏 （公益社団法人日本PTA全国協議会前理事）



歓迎アトラクションでは、赤穂市児童合唱団による合唱を披露して頂きました。子どもたちの素敵な歌声に会場中が魅了されました。

谷本賢一郎氏による基調講演では、歌を通して人との関わりや温かさを感じることができました。谷本氏は震災や豪雨被害に遭われた日本各地の被災地を回り、その方たちを元気づけるために歌を届けているのだそうです。そこで同じような活動をしていた、ここ兵庫県の太子高校のJコーラス部と出会い、一緒に演奏や合唱をしながらみんなに楽しさを届けているということでした。「0歳から99歳までの全ての方を楽しませるためには自分が楽しんでやらなければならない。」と谷本氏は話されていましたが、まさにPTA活動も同じく私たちが楽しんで活動することで周りの方の理解や協力の輪が広がっていくのだと改めて感じました。谷本氏の優しい歌声と、太子高校Jコーラス部の素敵なハーモニーは、まるでコンサート会場さながらの素敵なコラボレーションで、会場の人みんなが一気に引き込まれ大いに盛り上がりました。

実践発表では、藏屋氏が取り組んできたPTCA活動について紹介して頂きながら、問題点や今後の課題について発表して頂きました。限られた地域の中で各種団体が連携を図り、季節毎に大きなイベントを開催しながら人と人との繋がりを大事にしていくことで絆が生まれていくということに感銘を受けました。これを代々続けながら取り組むということはなかなか難しいことです。地域の特性もあるかもしれませんが、地域一丸となり協力しているからこそ成し得るものだと感じました。

しかしながら、やはり我々と同じような問題にも直面しており、少子化や共働き世帯の増加等により後継者が見つからないという問題についてはまだまだ解決にはほど遠いという回答でした。

PTAの活動や目的を明確化し、周知啓発を活発にすることでより多くの方に活動の意義を理解してもらうことが大切であると強く感じました。

今回の講演・実践発表から、時代の流れとともにPTAの運営活動は厳しくなっていきますが、親子や地域の方々、学校の先生、みんなの絆を感じられる活動にしていきたいと思いました。また今後のPTA活動についても、ITを使いながらできるだけ簡素化を図り、たくさんの方が協力しやすいような体制作りも今後考えていく必要があると思いました。